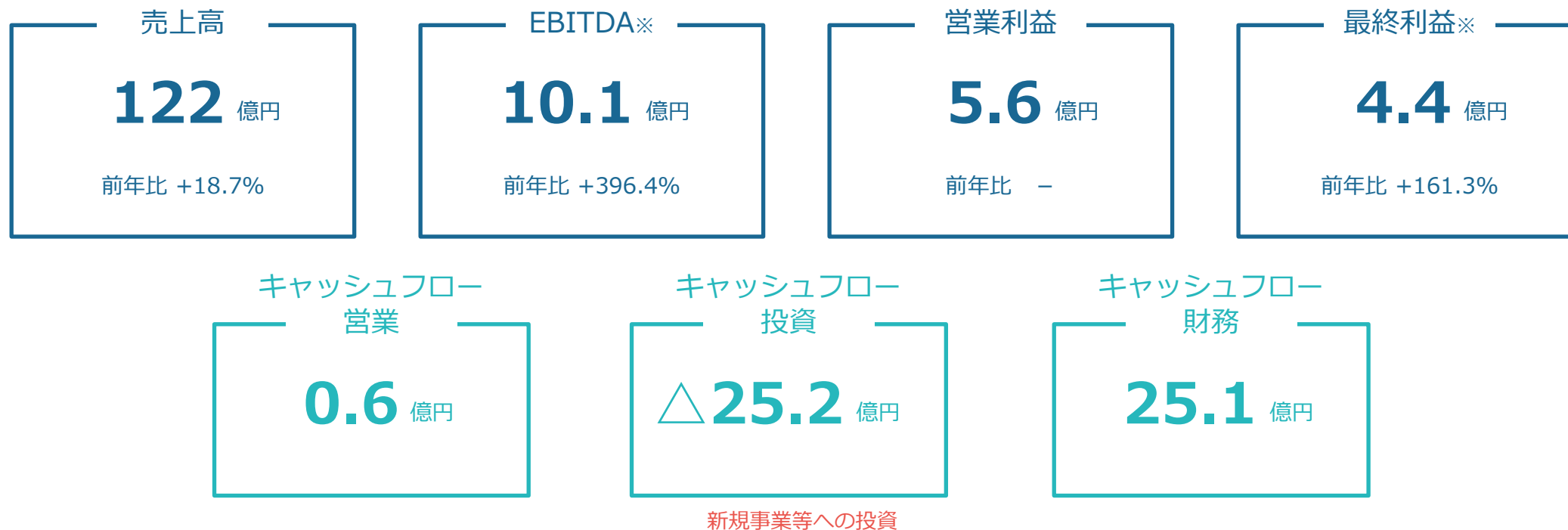


2021年12月期 通期決算補足資料

当社の設立は2018年7月ですので、2018年6月までの実績は
モバイルクリエイイト株式会社の連結実績で集計しております



FY2021 決算ハイライト



Point

- 売上高・利益ともに伸長
- 新型コロナ禍においても、ペイメント関連を中心に業績は好調に推移
- 新規事業への投資（2022年1月に完成）

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

※最終利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

業績サマリー

(単位:百万円)

	FY2020	FY2021	増減額	増減率
売上高	10,333	12,264	+ 1,931	+ 18.7%
売上総利益	2,302	3,269	+ 966	+ 42.0%
EBITDA	204	1,015	+ 811	+396.4%
営業利益	△284	566	+ 850	—
経常利益	△256	573	+ 829	—
最終利益	169	441	+ 272	+ 161.3%

セグメント別業績

(単位:百万円)

	FY2020	FY2021	増減額	増減率
売上高	10,333	12,264	+1,931	+18.7%
情報通信事業	6,680	7,452	+771	+11.5%
装置等関連事業	3,652	4,812	+1,160	+31.8%

(単位:百万円)

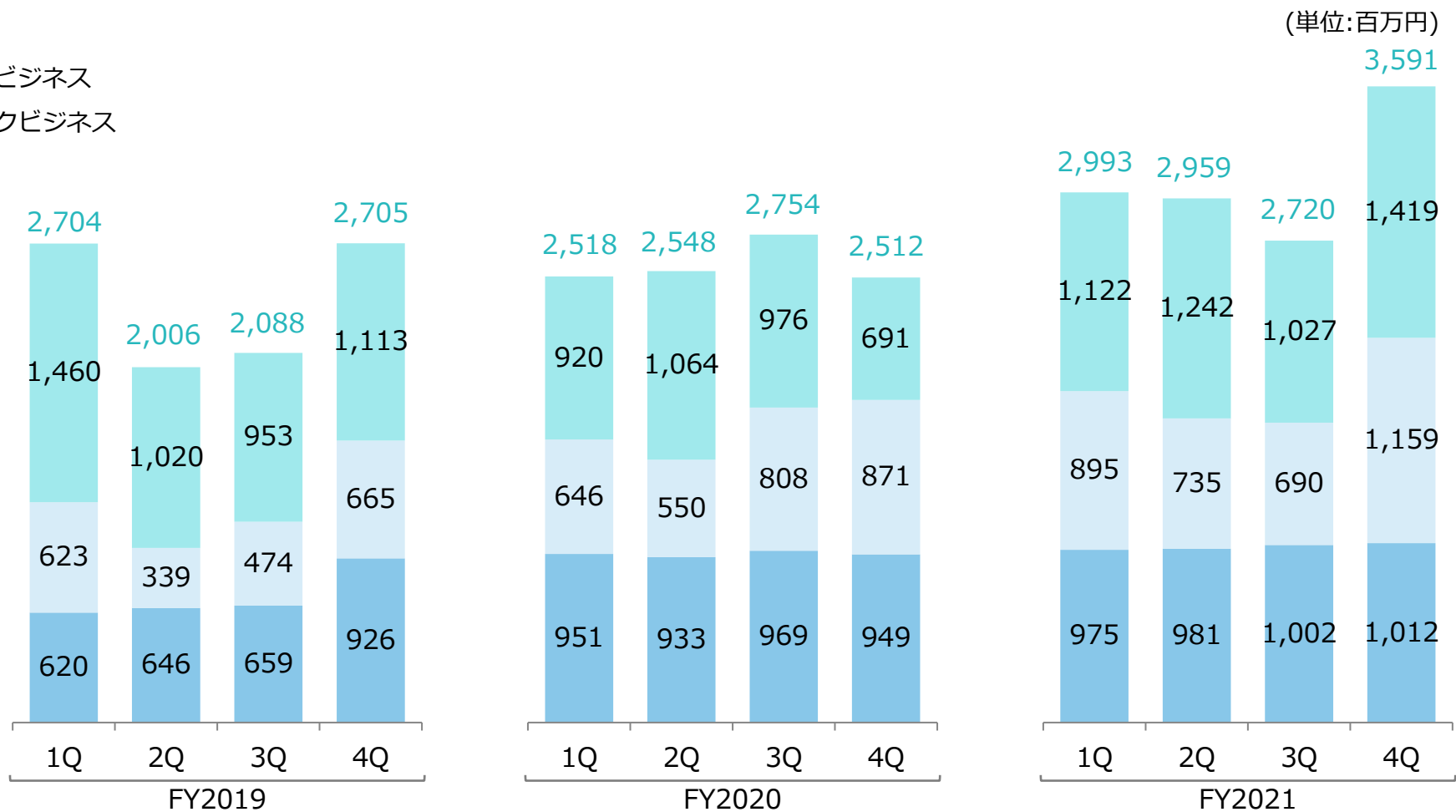
	FY2020	FY2021	増減額	増減率
営業利益	△284	566	+850	—
情報通信事業	887	961	+73	+8.3%
装置等関連事業	△695	290	+986	—
新規事業	△0	△5	△4	—
調整額	△476	△ 680	△203	—

※新規事業の売上高計上はFY2022からの予定

四半期 売上高推移

➤ FY2020のストックビジネスは新型コロナの影響を受けて若干の増減があったものの、FY2021からは拡大基調(四半期で10億円台)

- 装置等関連事業
- 情報通信事業 フロービジネス
- 情報通信事業 ストックビジネス

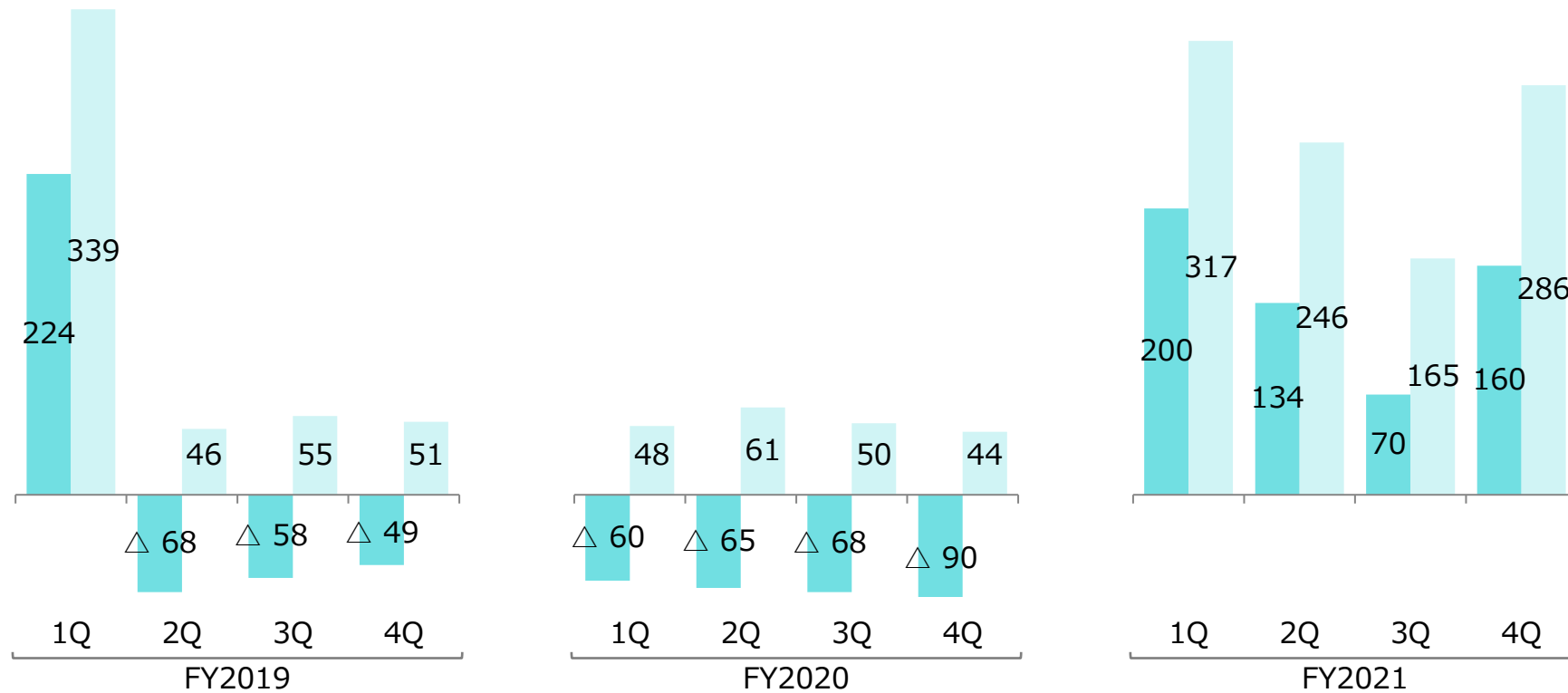


四半期 営業利益・EBITDA推移

➤ FY2020は装置等関連事業の苦戦により業績低迷したものの、FY2021は大幅回復

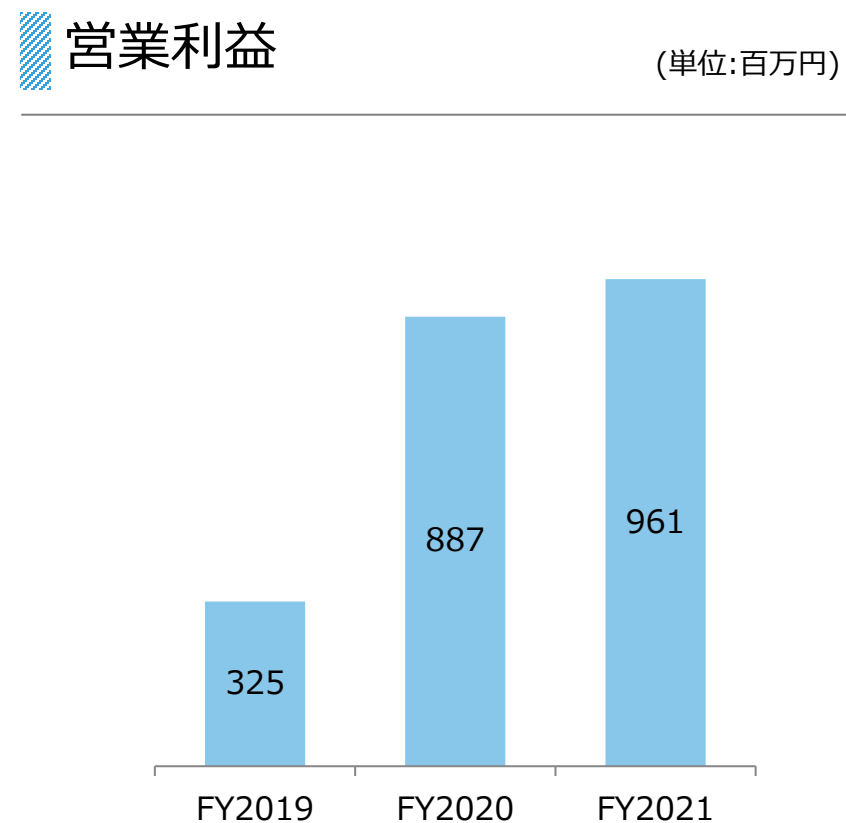
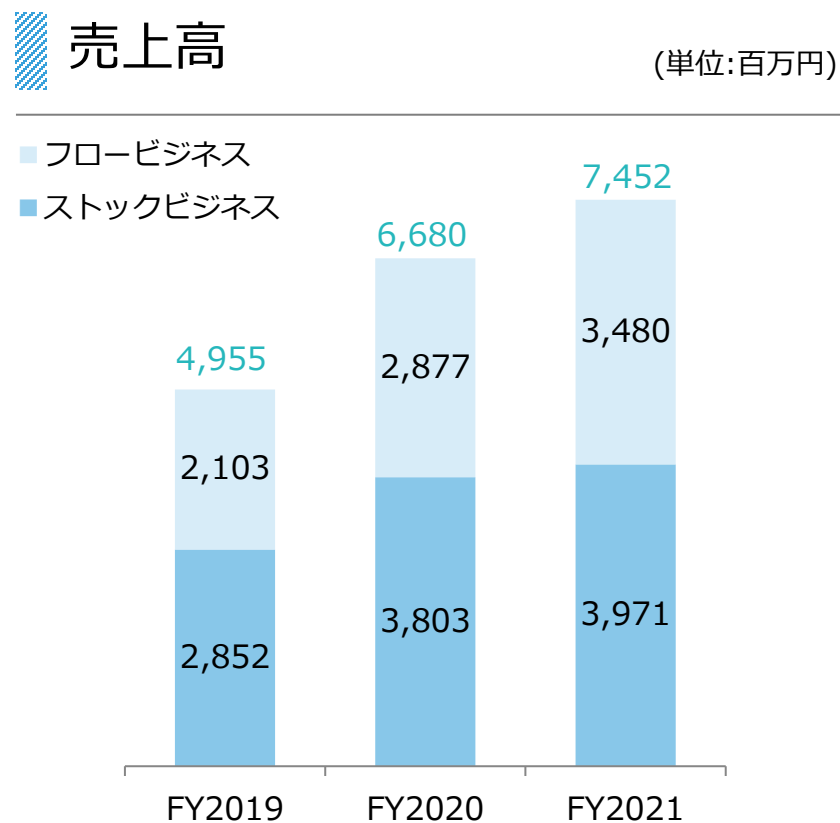
■ 営業利益
■ EBITDA

(単位:百万円)



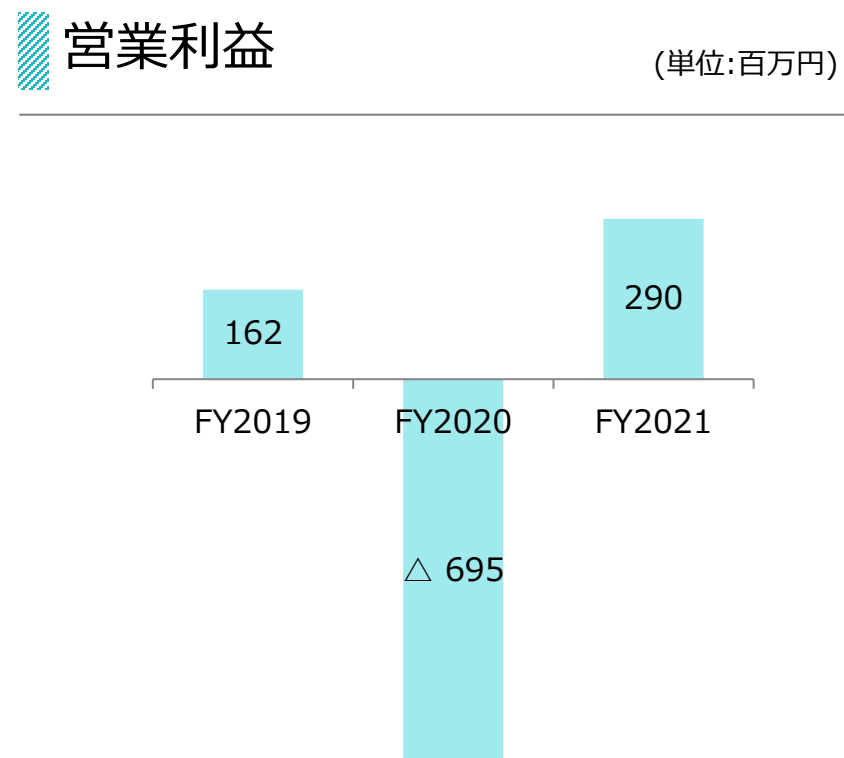
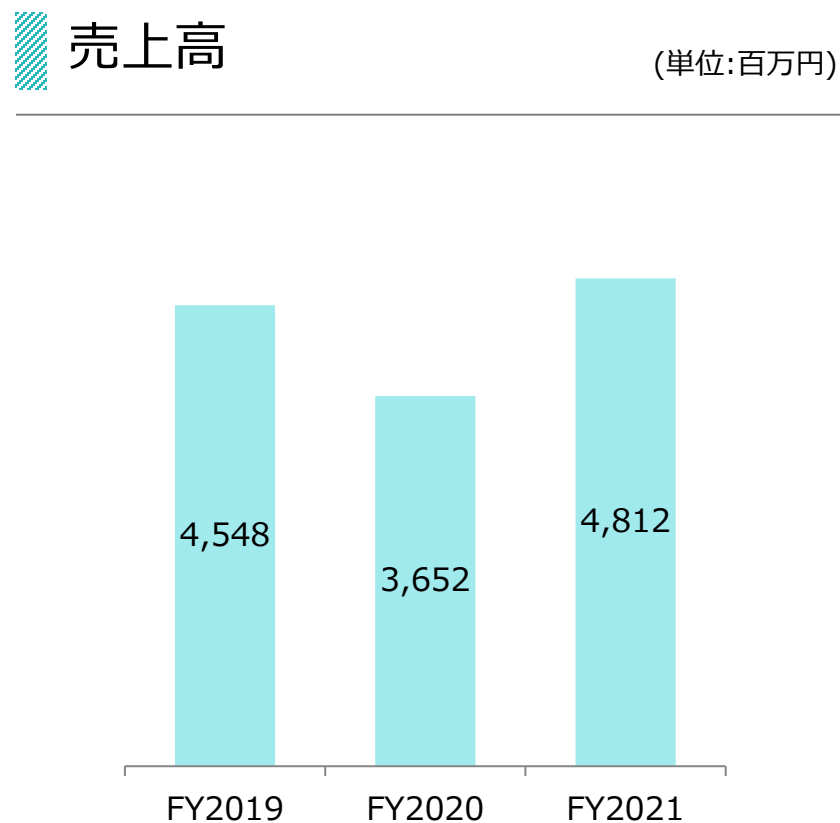
情報通信事業 業績推移

➤ ペイメント関連が他のサービス導入を牽引するとともにストックビジネスの拡大により業績は好調



装置等関連事業 業績推移

➤ FY2020より大幅に業績回復（大型の装置案件などで売上高が伸長）



貸借対照表

(単位:百万円)

2020年12月期末

資産合計 15,294

流動資産	8,461	その他負債	2,270
		有利子負債	4,713
固定資産	6,833	純資産	8,311

2021年12月期末

資産合計 18,971

流動資産	9,846	その他負債	2,693
		有利子負債	7,400
固定資産	9,125	純資産	8,878

	2020年12月期末	2021年12月期末
現金預金	2,341	2,414
NET有利子負債	2,371	4,985
自己資本比率	53.4%	46.0%
ネットD/Eレシオ	0.29倍	0.57倍
新規事業分の有利子負債	1,182	3,212
新規事業分を除く有利子負債	3,531	4,188

※有利子負債はリース債務を除く利子を支払っている債務

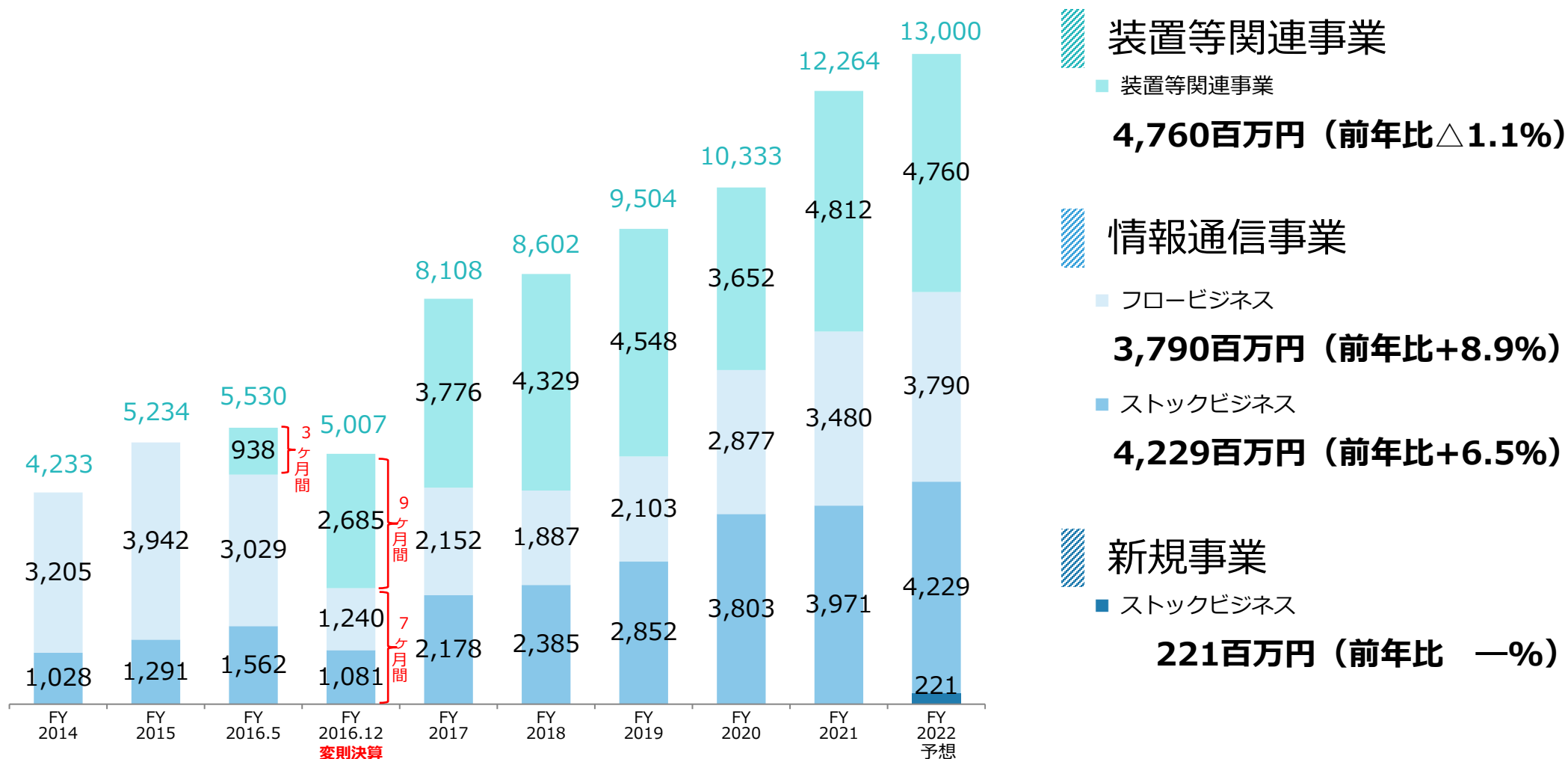
FY2022 通期業績予想

(単位：百万円／下段は売上比)

	FY2021 (実績)	FY2022 (予想)	増減額	増減率
売上高	12,264 (100.0%)	13,000 (100.0%)	+735	+6.0%
営業利益	566 (4.6%)	750 (5.8%)	+183	+32.5%
経常利益	573 (4.7%)	712 (5.5%)	+139	+24.3%
最終利益	441 (3.6%)	474 (3.6%)	+32	+7.3%
配当金 (予想)	5円	5円	—	—

FY2022 通期業績予想 (セグメント別売上高)

(単位：百万円)





Future Innovation Group

- 【 連絡先 】 F I G株式会社 社長室
- 【 住所 】 大分県大分市東大道二丁目5番60号
- 【 T E L 】 097 - 576 - 8730

本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。